

今号の主な記事

- ノーベル物理学賞受賞の小柴昌俊さんを招き西宮湯川記念事業特別講演会を開催 2面
- 技能功労者表彰や勤労者美術展などを行います 2面
- 11月23日に「阪神タイガースありがとうウォーク」 3面
- 「消防出初式」のパレード参加小学生を募集 6面

発行 / 西宮市役所 〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号
TEL / 0798-35-3151 (代表)

編集 / 総合企画局市長室広報課 TEL / 0798-35-3400

毎月10日(1月は1日)25日 2回発行

NEW LIFE PARTY 2003

出会うことから始まる

共に生きる福祉のまち

障害のある人も障害のない人も、みんなが共に支え合いながら生活し、活動する社会をめざす「ノーマライゼーション」の実現を。こんな願いを込めて、市と西宮甲子園ライオンズクラブなどは、障害者の日、障害者週間の関連事業として、北口ギャラリー(アクタ西宮東館6階)を中心に、「NEW LIFE PARTY」

2003」を開催します。テーマは「出会うことから始まる、みんなが暮らしやすいまちづくり」です。この機会に、会場いっぱいには繰り広げられる様々な催しに触れ、障害のある人と共に行動し、新しい暮らしを提案している皆さんの活動を知り、行動することの大切さを実感してください。

主な内容 障害のある人たちの絵画作品展、紙すき・さをり織等の体験コーナー、全国各地の作業所物産展、福祉NPO(非営利組織)などの活動紹介 このほか、11月22日午後1時半から大学交流センター(アクタ西宮東館6階)で障害者芸術についてのシンポジウム、23日午後1時半から北口ギャラリーで絵画のワークショップが行われます

市長からのメッセージ



西宮市長 山田 知

西宮市は、人々にやさしい福祉のまちづくりに取り組んでいます。

市内には、子どもや高齢者の皆さん、障害のある皆さんが住んでいらっしゃる環境を提供するためには、まちのバリアフリー化が必要です。そのための公共施設の改修はもちろんですが、障害のある人などが住宅を改造する場合の助成や、鉄道駅舎にエレベーターを設置する事業者、超低床ノンステップバスを導入する事業者に対して、市は補助を行っています。

また、こうした施設の整備と合わせ、一人ひとりの「心のバリアフリー」が大切です。お互いを尊重し、豊かなコミュニケーションを通じて理解し助け合うことが、誰もが自分らしく生きるということにつながるものだと思います。

市は、今後とも様々な形で、バリアフリーとユニバーサルデザインの考え方を取り入れたまちづくりを積極的に進めてまいります。



昨年の「NEW LIFE PARTY」の様子



個性あふれる作品が、目をひきつけます

問合せは市健康福祉計画課(0798・35・3135)へ。
日程・会場 11月18日(23日の午前10時)～午後6時(23日は5時)に北口ギャラリーで

◆輪伊和イ広場 12月7日の午前9時50分～午後3時半に総合福祉センターで。出店、ミニコンサートなど。問合せは西宮市社会福祉協議会(0798・33・5501)へ

駅舎にエレベーター等を設置

バリアフリー化が進んでいます



昨年度阪急夙川駅構内に設置されたエレベーター

市は、鉄道事業者が駅舎にエレベーター等を設置する際、国、県と連携して事業費の一部を助成しています。この制度を活用し、昨年度は阪急夙川駅にエレベーターが設置され、今年度はJR西宮名塩駅と阪急西宮北口駅の2駅で、エレベーターやエスカレーターが設置される予定です。

市は、今年7月に駅周辺地区(5地区)のバリアフリー事業の指針となる「交通バリアフリー基本構想」を策定しました。今後、この基本構想に基づき、駅や駅周辺道路等について、関係機関と協力しながら、さらにバリアフリー化を推進していきます。

心のバリアフリーを

今号の新聞折込が1日早まりました

11月9日の衆議院議員総選挙にともない、新聞配送が遅延するため、本紙11月10日号を10日の新聞に折り込むことができなくなりましたので、11月9日に新聞折込みさせていただきました。